

相次ぐLPガススタンド閉鎖で燃料充填に悩みを抱える地方都市で、カグラペーパーテックの簡易型スタンド「オートコンポ」がタクシー会社の役に立っている。車一台分のスペースで設置でき維持管理コストも少なく、会社の敷地内や地域内での燃料充填が可能になる。営業効率化と乗務員のストレス低減を同時にかなえる新兵器を紹介する。

オートコンポはタクの味方

カグラペーパーテックの簡易型LPガススタンド

地域の足を守る 市内初のスタンドに

岡山・総社

「総社市に初のオートガススタンドが開設した」。人口約6万8000人の岡山県総社市。2015年にガソリンスタンド・浅野産業グループ(株)角藤田吉備路SS(浅野益弘社長)の一角にオートガススタンドが誕生した。SS併設オートガススタンドとしては岡山県内初。カグラペーパーテックの簡易オートガススタンド「オートコンポ」の設置によって実現した。



ガソリンスタンドの一角に設置したオートガススタンド。1日30台程度が利用する(総社市の角藤田吉備路SSオートガススタンド)

総社市は高齢世帯が多い一方、市が企業誘致などに取り組み外国人世帯を中心に若年人口も増加。女性のタクシー利用も多く、観光による需要創出にも力を入れる。初のガススタンド誕生は地域活性化への期待も背負う。

市内のタクシー会社は6社(営業所含む)約50台。設置前は乗務員が充填のために10キ以上離れた岡山市や倉敷市のスタンドまで毎日往復1時間以上もかけて通っていた。しかもスタンド廃業が重なり時間と労力の負担は増す一方。スタンド開設は地域の悲願となっていた。

「乗務員は營收を上げるために1分でも30秒でも惜しい。今はスタンドまで会社から10分。本場に助かっている(備北タクシー総社営業所)と笑顔がこぼれる。地域の足を守りたいという地元の強い要望に応えた浅野産業Gは「応え高齢者の多い地域で欠かせない生活交通であるタクシー」を支援、LPガスを通じて地域に貢献したいと開設に踏み

地元タクシー会社からは「乗務員は營收を上げるために1分でも30秒でも惜しい。今はスタンドまで会社から10分。本場に助かっている(備北タクシー総社営業所)と笑顔がこぼれる。地域の足を守りたいという地元の強い要望に応えた浅野産業Gは「応え高齢者の多い地域で欠かせない生活交通であるタクシー」を支援、LPガスを通じて地域に貢献したいと開設に踏み

和歌山・串本

共同でスタンド運営

紀伊半島の最南端、和歌山県串本町。町内唯一のオートガススタンドに2014年、閉鎖の危機が訪れた。町内のタクシー会社が需要の減退で4社44台から3社25台に減少。しかも1社5台がガソリン車への転換を迫られていた。



本州最南端、人口1万7000人の町で20台のタクシーを支えるオートコンポ(串本町の伊藤忠エネクスホームライフ関西串本営業所)

伊藤忠エネクスホームライフ関西串本営業所に相談。自社敷地内より効率性の高いスタンド内に設置し、同営業所、串本タクシー、さらに町内のもう1社の3者が共同で運営することになった。充填側とタクシー側が共同で自家スタンドを運営するケースは全国でも珍しい。

福岡・久留米

コスト削減年1200万円 初期費用を早期回収

西鉄タクシーホールディングスでは久留米西鉄タクシーに続き、昨年9月から福岡西鉄タクシーでもカグラペーパーテック製の自家用LPGスタンド(オートコンポ)を導入した。設置したのは大楠営業所、西営業所の車両を含め58台がスタンドを利用している。導入から半年が経過したが、100万円の燃料費増と

省スペース/有資格者は不要

需要低迷や人手不足から全国でLPガススタンド閉鎖が相次ぐ。2005年の1800カ所から2015年には1459カ所に減少。特に秋田県、石川県、広島県、沖縄県では2015年までの5年で3割以上が消滅している。

対策の切り札として注目されているのがカグラペーパーテックの簡易スタンド「オートコンポ」だ。基本構成は1トンバルク貯槽1基か2基にプロセスチャンパー、ペーパーライザー、ディスペンサー各1基。車1台分の小さなスペースがあれば設置できる。タクシーなら約30台から40台程度に対応する。

さらに昨年、2・5トンバルク貯槽1基にディスペンサー2基を搭載した大型タイプ「オートコンポ ラージ」を新発売。100台近い事業者や地域共同での導入ニーズにも応えた。

プロパンOK/災害用バルクに

簡易スタンドは維持管理コストが高く有資格者が必要な従来の第一種スタンドに比べ、有資格者が不要で維持管理コストの大幅な軽減が図れる。さらに家庭用と同じプロパンガスが使えるのも魅力だ。かつてはボタンより高値だったプロパンだが今は安値が続く。ボタンと違い卸業者が多く供給・配送網が充実しているため、値決めも柔軟で設置地域も選ばない。

カグラペーパーテックは「プロパンを活用すれば災害時の地域貢献も可能。災害用バルクとして経産省の補助金も申請できる。地域を支えるタクシー会社ならではの取り組みになる」と話す。



自家用LPGスタンドへ毎日充てんしに来るバルクローリー(久留米市の久留米西鉄タクシー八軒屋営業所)